

朝霞第一中学校 第2学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい～

- ・わからないことをわかろうと、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人と協力できる生徒

1. 授業への取り組み方

① 小テスト

- ・授業の初めの5分程度で計算問題に取り組みます。毎回きちんと取り組んで、数学の基礎基本をしっかりと身につけましょう。

② 単元テスト

- ・単元のまとめとして、単元テストを実施します。

③ ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないと、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・教科書 p.30, 31 の参考例(マイノート)も見てみましょう。

④ 話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると、数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書にはない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞きましょう。自分の考えが、より深くなります。

2. 提出物について

① ワーク

- ・定期テストごとに集めます。
- ・授業評価に加えます。ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。粘り強く取り組んでください。

【ワークの取り組み方】 ※授業内で配ったワークの取り組み例を参照してください。

- ・例題のあるページは途中式を書くようにしましょう。
- ・筆算や、計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・計算スペースが足りない場合には、別紙を貼るか付箋にかいて提出しましょう。

② 小テスト

③ テスト直しレポート

- ・定期テストはもちろん全員提出です。単元テストについても提出する場合があります。

- ・テストは何点とれたかも大切ですが、同じ問題が出たときに必ず解けるようにしておくことが重要です。

3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

4. 評価について

3つの観点をⒶ,A,B,ⓐ,Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA,B,Cの3段階で通知されます。

- Ⓐ：十分に満足できるもののうち特に程度が高い A：十分満足できるもの B：おおむね満足できるもの
ⓐ：努力を要するもの C：一層努力を要する

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、宿題への取組、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業の学習や取組み、レポート等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A, B, Cで評価しています。

[評定について]

各評価の観点ごと A,B,C の評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

(例) AAA→5,4 AAB→4 AAC (ABB) (BBB) (ABC) (BBC) →3 BCC→2 CCC→2,1

[学年評定について]

1 学期から 3 学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価 (A・B・C) と評定 (5 段階) を行います。

[1 年間の学習内容]

1 章 [式の計算] 文字式を使って説明しよう

- ・単項式と多項式 ・多項式の計算 ・単項式の乗法と除法 ・式の値 ・式による説明 ・等式の変形

2 章 [連立方程式] 方程式を利用して問題を解決しよう

- ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・いろいろな連立方程式 ・連立方程式の利用

3 章 [1 次関数] 関数を利用して問題を解決しよう

- ・1 次関数 ・1 次関数の値の変化 ・1 次関数のグラフ ・1 次関数を求めること
・2元1次方程式のグラフ ・連立方程式とグラフ ・1 次関数とみなすこと ・1 次関数のグラフの利用

- 1 次関数と図形

4 章 [平行と合同] 図形の性質の調べ方を考えよう

- 多角形の角の和の説明 • 平行線と角 • 合同な図形の性質と表し方 • 三角形の合同条件
- 証明のすすめ方

5 章 [三角形と四角形] 図形の性質を見つけて証明しよう

- 二等辺三角形の性質 • 二等辺三角形になるための条件 • 直角三角形の合同 • 平行四辺形の性質
- 平行四辺形になるための条件 • 特別な平行四辺形 • 平行線と面積

6 章 [確率] 起こりやすさをとらえて説明しよう

- ことがらの起こりやすさ • 確率とその求め方 • いろいろな確率 • 確率による説明

7 章 [データの比較] データを比較して判断しよう

- 四分位範囲と箱ひげ図